

# 日本語／日本語教育研究会

第7回 大会

日本語／日本語教育学研究会は、日本語学と日本語教育の相互交流と発展のために2009年に発足しました。おもに若手研究者・大学院生、そして、海外の研究者による研究発表の場を創出することを目的し、年1度(9～10月予定)研究会を行い、それと連携した雑誌を刊行します(5月)。詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.cocopb.com/NichiNichi/

2015年9月27日(日)

学習院女子大学 2号館 236

当日は正門ではなく北門よりお入りください。

## プログラム

9:30 ~	受付開始	参加費	1000円 (学生・非常勤など 500円)
10:00 ~ 11:10	開会式・ポスター発表(1)		
10:00 ~ 10:10	ポスター発表 プレゼンテーション		
11:20 ~ 12:20	<b>第3回 ビブリオバトル</b>		
12:20 ~ 13:00	昼休み		
13:00 ~ 14:10	ポスター発表(2)		
13:00 ~ 13:10	ポスター発表 プレゼンテーション		
14:10 ~ 14:25	総会		
14:30 ~ 16:30	口頭発表		
	中島由季子	指導法の違いが学習者の短文作成に与える効果 —教師による訂正と学習者自身の自己訂正の結果を比較して—	日本女子大学 大学院生
	宮崎聡子	上級日本語学習者による形容詞中止形の使用状況 —YNU書き言葉コーパスの調査を通じて—	岡山大学 大学院生
	黄若白	「ないわけにはいかない」の特性を探る —当為的モダリティにおける位置づけ—	創価大学 助教
16:30 ~ 16:40	閉会式	(閉会后、希望者に「研究相談会」を受け付けます。)	

ポスター発表の開始前に一人1分で発表の概要を口頭発表します

## 第3回 ビブリオバトル

院生時代に

刺激を受けた本



### 【参加者】

澤田浩子 (筑波大学)  
太田陽子 (一橋大学)  
田中祐輔 (東洋大学)  
岩男考哲 (信州大学)  
小口悠紀子 (首都大学東京)

### 【企画運営】

岩田一成・中俣尚己

ポスター発表 (1)			ポスター発表 (2)				
1	平野宏子	日本語の作文はどう書くべきか、中国語の作文はどう書くべきか	東京外国語大学 講師	11	鈴木梓	原因を表す格助詞テノ二使用に関する一考察	名古屋大学 大学院生
2	湯浅千映子	学部留学生のレポート作成に向けた論説文の要約活動	関東学園大学 専任講師	12	申貞恩	二格を伴う移動表現について—容認度調査から—	筑波大学 大学院生
3	Grib Dina	外国人日本語学習者向けの日本漢文教科書の分析—題材および学習項目を中心とした事例研究—	首都大学東京 大学院生	13	伊恵珍	日本語を母語としない児童生徒の日本語教育について	名古屋市立大学 大学院生
4	大竹文美	算数的思考と創造力の伸長を図った指導における日本語能力の発達—パターンブロックを利用した年少者への実践研究—	横浜国立大学 大学院生	14	朱炫姝	主観性・間主観性の観点から見た授受表現に関する一考察	筑波大学 大学院生
5	大澤彰子	初等・前期中等教育段階における音声付教科書の活用	特定非営利活動法人テストと学習環境のユニバーサルデザイン研究機構	15	中俣尚己	接触場面における学習者と母語話者の語彙はどこが異なるのか?—「日中Skype会話コーパス」の分析—	京都教育大学 准教授
6	嶋原耕一	接触場面における日本語非母語話者のカテゴリー化及び被カテゴリー化の様相	東京外国語大学 大学院生	16	天野裕子	日本語を学習するベトナム人大学生が使用する語彙学習ストラテジー	九州大学 大学院生
7	張明	連体修飾形式「的な」の文末用法	学習院大学 大学院生	17	吳曉榮	初対面接触場面における韓国人日本語学習者の自己開示の研究	筑波大学 大学院生
8	趙麗雲	中国語母語話者によるティナイ形の習得—一文法テストの結果に基づいて—	首都大学東京 大学院生	18	南明世	複合動詞「V1-あげる」「V1-あがる」における自他に関する一考察	名古屋大学 大学院生
9	Piyatorn Kaewwatana	原因・理由文をめぐる日タイ対照研究—「からこそ」とタイ語表現の比較を中心に—	大東文化大学 大学院生	19	徐乃馨 甲賀真広	中国語母語話者と日本語母語話者の送り仮名の使用実態	首都大学東京 大学院生
10	黄慧	オノマトペの副詞的用法に関する再考察	東京外国語大学 大学院生	20	村田志保	日本語教育において意味格から「お預りです」「お電話です」の導入を考える	名古屋市立大学 大学院生

問い合わせ先 : nichinichiml@gmail.com